

イースター しんきゅうしき  
進級式



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 28・1～10

主イエスの復活

もうここにはおられない。かねて言われたとおりに、よみがえられたのである。 マタイ 28・6

目標

復活のキリストによって失望や恐れを喜びに変えていただく。

# 4月1日（日）

聖書  
聖句

マタイ 28・6

もうここにはおられない。かねて言われたとおりに、よみがえられたのである。 6節

イースターおめでとう！

イエス様が生まれたこと、十字架で死なれたことも大切だけど、イエス様がよみがえられたこの日こそ、とても大切だね。だって、イエス様がよみがえらなかったら、「死」という問題にだれも勝てなかったのだから！

イエス様は、よみがえりによって、人はただ死ぬために生まれてくるものでなく、もう一度生きることができることを見せてくれたよ！

イエス様のよみがえり、ばんざい！ イエス様、ありがとう！

祈り

天のお父様、死にも勝ってくださったイエス様のよみがえりを心からありがとうございます！

# 4月2日（月）

聖書  
聖句

マタイ 28・1

マグダラのマリヤとほかのマリヤとが、墓を見にきた。 1節

イエス様のお墓には大きな大きな石のふた、そして、その前にはローマの兵士が立って番をしていました。行っても会えないだけでなく、捕まるかもしれません。それでも、勇気をだして出かけた女の人たちがいたのです。

この時代の女の人たちは、勉強も仕事もゆるさず、弱く力のない立場でした。

でも、弱くてもイエス様を愛する気もちはとても強かったね。イエス様なしでは生きていけない、そんな人たちに、神様はふしぎで、とても大きなことを体験させてくださるのです。

祈り

天のお父様、この弱いわたしも、あなたがふしぎで大きなことを体験させてくださると信じます。

# 4月3日（火）

聖書  
聖句

マタイ 28・2～4

主の使が天から下って、そこにきて石をわきへころがし、その上にすわったからである。 2節

イエス様のお墓のふたや番兵は、外からも中からも出入りさせないためのものでした。

でもどうでしょう。番兵は死人のようになり、ふたはあつというまに開いたよね。人がなんとかして神様のなさることを止めようとしても、なんの意味もないのです。

あなたのまわりにも、イエス様に会うことや、神様のすばらしさが広まることを止めようとする人がいるかもしれません。でも、神様のわざは何よりも大きく、何よりも強いのです。

祈り

天のお父様、人のすることは、あなたの前ではちっぽけなものです。ただ、あなたのわざだけがなることを信じます。

## 4月4日（水）



マタイ 28・3～5

恐れることはない。

5節

信仰をなくしそうなとき、勇気がないとき、弱さを感じるとき、「死」がこわいとき…神様は「恐れるな」と言ってくくださるお方です。

神様を信じていない人は、人はがんばることで、恐れなくてもいい人になれると考えます。でも、どんなにがんばっても「死」に勝つことはできず、恐れるのです。

わたしたちが恐れなくていいのは、「死」の力にも勝たせてくださる神様を信じて、希望を持てるからだね！

イエス様のよみがえりを信じて希望を持ち、恐れなくて生きていけるあなたでいてくださいいね。

いの祈り

天のお父様、死ものりこえさせてくださるあなたの力を信じ、恐れなくて生きていきます。

## 4月5日（木）



マタイ 28・5～6

さあ、イエスが納められていた場所をござんなさい。

6節

マリヤたちがイエス様のところに行ったのは、よみがえったイエス様ではなく、死んだイエス様を見るためでした。

イエス様は何度もよみがえりのことをお弟子さんたちに伝えていたのにね。人は「見る」ことでしか信じられない、そんな弱さがあるね。

「見て」わかるようにと、天の使いは石のふたを開けてくれました。

神様も、いつもわたしたちに分かるように、大きな大きな石のふたがしてあるところ、あなたの「心のふた」までもとりのぞいて「さあ、ござらん」と教えてくださるよ。

いの祈り

天のお父様、見ることでしか信じなかったわたしの心のふたも、とりのぞいてくださりありがとうございます。

## 4月6日（金）



マタイ 28・7～9

そこで女たちは恐れながらも大喜びで、急いで墓を立ち去り、弟子たちに知らせるために走って行った。

8節

よみがえりのイエス様のことを体験しても、「うそみたい」と思っちゃう人もいたみたい。でも、そんな人によみがえりのイエス様が本当にあらわれてくださったから、命をかけてこのことを知らせ、全世界にイエス様のことが広まってきたんだね。

マリヤたちも走って伝えに行き、イエス様に出会ったよ！

イエス様だけが本当の救い主、イエス様だけが礼拝を受けるのにふさわしいお方だね！

いの祈り

天のお父様、イエス様だけが、礼拝するべきわたしの救い主です。

## 4月7日（土）



マタイ 28・10

行って兄弟たちに、ガリラヤに行け、そこでわたしに会えるであろう、と告げなさい

10節

そういえばイエス様のお弟子さんたちはどうしちゃったんだっけ？

じつはイエス様が捕まったとき、お弟子さんたちは恐くなり、逃げてしまったんだ。信じて従ってきたはずだったのに…

でもね、イエス様はそんなお弟子さんたちを「裏切り者」「いくじなし」とは言わず、「兄弟たち」と言っておられるよ。

人の、イエス様への態度が変わったとしてもイエス様の態度は変わらず、人を愛しつつ、出会い、はげましてくださるんだね！

いの祈り

天のお父様、すぐに態度の変わるわたしにも、変わらないイエス様の愛があることを感謝します。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

マタイ 28・16～20

キリストと共に遣わされる  
見よ、わたしは世の終りまで、  
いつもあなたがたと共にいるの  
である。 マタイ 28・20

目標

共におられるキリストを覚え、  
宣教に遣わされる者となる。

4月8日（日）

聖書  
聖句

マタイ 28・16～20

見よ、わたしは世の終りまで、いつ  
もあなたがたと共にいるのである。

20節

進級式や入学式の季節ですね。どんな毎日  
だったでしょう？ 復活のイエス様といっしょ  
だから大丈夫だったでしょう？ 今日もし強い  
イエス様のみ言葉の約束をにぎって、新しい  
一週間を始めましょう。イエス様は、「天にお  
いても地においても、いっさいの権威を授けら  
れた」お方。そう、全宇宙で一番強いお方なの  
です！ だって、死の力を打ち破られたのです  
から。そのお方が世の終りまで、一日一日、す  
べての日、いっしょにいてくださいます。

いの  
祈り

天のお父様、復活されたイエス様が毎日  
共にいてくださり感謝です。イエス様の  
ことを伝えていけますように。

4月9日（月）

聖書  
聖句

マタイ 1・18～23

見よ、おとめがみごもって男の子を  
産むであろう。その名はインマヌエ  
ルと呼ばれるであろう。 23節

マタイはその福音書を、「神様が共におられ  
る」で始め、「共におられる」で終わっています。  
その中にも「共におられる」のメッセージを入  
れました。イエス様のお名前がイザヤの預言で  
は『インマヌエル』と記されています。これは  
ヘブル語で、訳すと「神われらと共にいます」  
という意味なのです。そもそもイエス様ご自身  
が神様であって人となられた、神とともにいます  
お方。そして、その神様が私たちとも共にい  
てくださるという感謝な名前です。

いの  
祈り

天のお父様、インマヌエルというお名前の  
救い主イエス様が、いつもどんな時も共に  
いてくださってうれしいです。

4月10日（火）

聖書  
聖句

マタイ 18・15～20

ふたりまたは三人が、わたしの名に  
よって集まっている所には、わたし  
もその中にいるのである。 20節

わたしたちがお祈りできるって、すごいこと  
ですね。二人がどんな願い事についても地上で心  
を合わせてお祈りしたら、天にいますイエス様  
の父なる神様がそれをかなえてくださるとい  
うのです。そして、二人でも三人でもイエス様の  
お名前によって集まっている所には、「わたし  
もその中にいるよ」とイエス様がおっしゃって  
います。本気でお祈りしてみませんか。だれか  
と集まるなら、イエス様もそこにいてくださ  
います。きよい集まり！ いいですね。

いの  
祈り

天のお父様、二人でも三人でもイエス様  
のみ名で集まるなら、インマヌエルの主  
がその中にいてくださり、感謝です。

## 4月11日（水）



マタイ 28・16～20

見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたがたと共にいるのである。  
20節

日曜日に読んだのと同じ聖書の個所で、同じ暗唱聖句です。覚えていますか？ もう見ないで言えますか？ マタイはこのようにして、最後にも「わたしは共にいる」とインマヌエルでしめくくっています。特にどんな時かと言うと、「すべての国民を弟子として」「バプテスマを施し」とあるように、インマヌエルの主の福音を宣べ伝える時です。お友だちにイエス様のこと、教会のことを話すのは勇気がいるよね。そう、その時！ 共にいてくださるのです。

いのちの祈り

天のお父様、すばらしいイエス様を伝えようとする時、特に「わたしは共にいる」とのお約束で励まされます。

## 4月12日（木）



マルコ 16・14～18

全世界に出て行って、すべての造られたものに福音を宣べ伝えよ。 15節

オー！ 復活のイエス様からの、ものすごいご命令だなあって思いませんか？ 全世界に出て行きなさい、すべての造られたものに、イエス様の十字架と復活による救いの福音を宣べ伝えなさいというものです。なぜって、世界中の人が救われなければならないからです。日本人だけでなく、全世界のどんな国の人もです。だからすべての造られた人に伝えなければなりません。すぐ隣りの人もそうです。お家の人もです。将来宣教師になっていく人もあるかもね。

いのちの祈り

天のお父様、造られたすべての人、全世界の人が必要な福音を、わたしも信じられて感謝です。伝える人にならせてください。

## 4月13日（金）



マルコ 16・19～20

主も彼らと共に働き、御言に伴うしるしをもって、その確かなことをお示しになった。  
20節

イエス様は、「行きなさい」と言われるだけではないことが、ここでわかりますね。弟子たちは言われたとおりに出て行って、いろんな所で、どんどん福音を宣べ伝えました。使徒行伝にも書いてあるし、多くの宣教師物語を読むとわかります。その時、「主も彼らと共に働き」と書いてあるとおりに、たしかに生きておられる復活のイエス様が、弟子たち、宣教師たちと共に働いてくださって、多くの実が結ばれてきたのです。今も主は働かれます。

いのちの祈り

天のお父様、今や全世界にいろんな形で福音が伝えられていて驚きです。わたしも、小さくても伝えさせてください。

## 4月14日（土）



Ⅱテモテ 4・1～8

御言を宣べ伝えなさい。 2節

大迫害者サウロ、そのサウロが復活のイエス様と出会って、とらえられて大伝道者パウロに、見事、変身！ イエス様の愛にパンパンに満たされて、遠く広く、ヨーロッパにまで福音を伝えました。命がけの3回の伝道旅行でも、復活のイエス様がいつもパウロと共におられました。

地上のお仕事もう終わりそうと、愛弟子テモテに最後のお手紙を書きました。「御言を宣べ伝えなさい」と。み言葉と共に聖霊が働いてくださいます。み言葉カードを配りましょうか。

いのちの祈り

天のお父様、すべての人が必要なのは命のみ言葉です。お祈りしてカードを人々に配ります。祝福して用いてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 3・15～22  
イエスの受洗  
あなたはわたしの愛する子、わ  
たしの心にかなう者である。  
ルカ 3・22

目標

神が遣わされた御子キリストを  
信じ、従う者となる。

4月15日(日)

聖書  
聖句

ルカ 3・22

あなたはわたしの愛する子、わ  
たしの心にかなう者である。 22節

神様の愛をひとりじめできるほどに愛され  
ていたイエス様。でもね、「あなたはわたしの  
愛する子」という神様の言葉は、あなたへの  
言葉でもあるんだよ。

それは、人が神様からうけるはずの罰を、イ  
エス様が代わりに受けてくださったから。

愛されなくて当たり前の人間が神様に愛さ  
れるために、イエス様が十字架の上で神様に捨  
てられたから。あなたはこれを信じますか？

あなたはそれほどまでに、神様に愛されてい  
るんだね。神様、ありがとう！ イエス様、あ  
りがとう！

祈り

天のお父様、イエス様を十字架につけて  
まで、わたしを愛してくださったことを  
感謝します。

4月16日(月)

聖書  
聖句

ルカ 3・15～16  
民衆は救主を待ち望んでいた。

15節

この時代のユダヤの国は、ローマという大き  
な国に支配されていました。ユダヤ人たちは、  
この苦しい支配から解放してくれる、力のあ  
る救い主を待ち望んでいました。神様は、聖書  
に預言されていたとおりに、イエス様を人々の  
ために与えられました。でもそれを理解できる  
人はそんなにたくさんはいなかったのです。

どの時代もみんな、自分の理想どおりの王様、  
救い主を求めます。そして、理想とちがうと感  
じたらかんたんに捨ててしまうのです。

あなたは神様がなぜイエス様をあなたのた  
めにくださったのか、心から理解し、うけ入れ  
ていますか？

祈り

天のお父様、いつまでもあなたを信じる  
心を持ち続けられますように。

4月17日(火)

聖書  
聖句

ルカ 3・16

このかたは、聖霊と火とによってお  
まえたちにバプテスマをお授けにな  
るであろう。 16節

ヨハネもこの時代、神様のために力強く働  
いた人でした。たくさんの方が、罪を悔い改め  
て、神様にしっかりと心に向けるための洗礼を受  
けたのです。けれども、ヨハネは、自分は本当  
の救い主の前ではどれくらい以下だと言うのです。

そう、本当の救い主は、神様に心に向けた人  
には聖霊を満たすことができるお方！

聖霊に満たされたとき、人はイエス様の力で  
いっぱいになって、神様のために喜んで働く  
人になるのです。あなたもね！

祈り

天のお父様、わたしもイエス様の力で  
いっぱいになって、あなたのために喜  
んで働けますように。

## 4月18日(水)



ルカ 3・17

麦は倉に納め、からは消えない火で  
焼き捨てるであろう。 17節

神様はね、イエス様を通してしかできないことを、わたしたちに教えてくれているよ。

それは天国のこと！人はだれもがこの人生を楽しんで生き、人生が終わったあとも楽に天国に行けると思っているものです。

でもね、天国のことは聖書にしか書いていないこと、自分の力でなくイエス様を救い主として信じる人だけが行けること、それははっきりとしたことです。

天国に行きたいと思っている人はたくさんいても、イエス様を知らない人がほとんどでしょうね。そんな人を教会にさそってあげられるあなたでいてくださいね。

**祈り** 天のお父様、みんなが聖書にある天国のことを知ることができますように。

## 4月19日(木)



ルカ 3・18

ヨハネはほかにみなお、さまざまの  
勧めをして、民衆に教を説いた。 18節

何か一つのことを深く知れば知るほど、そのことに詳しくなって、説明することができるようになるでしょ？きつとヨハネも、イエス様のことを深く知っていて、また聖書に預言されている救い主だということもよくわかっていたんだね！

イエス様をだれかに教えてあげたいとき、福音のこと、よく知っておきたいね！それは、イエス様が人の罪の身代りに十字架についたこと。死んで葬られたこと。よみがえって天に昇り、今も生きておられ、聖霊によってわたしたちといっしょにいてくださることだよ！

**祈り** 天のお父様、もっと深くイエス様と、聖書のことを理解させてください。

## 4月20日(金)



ルカ 3・19～20

彼を獄に閉じ込めて、いろいろな  
悪事の上に、もう一つこの悪事を重  
ねた。 20節

自分のしている悪いことを注意されたとき、人はどんな態度をとるでしょう？反省するかな？それとも逆ギレしちゃうかな？

ヘロデ王は、まるで自分は悪くないどころか、悪いのはおまえのせいだと言わんばかりの態度をとった人でした。

悔い改めの人生というのは、人のせいにして生きることでも、自分の人生をざんねんがって生きることでもなく、生き方を神様に喜ばれるように変えていくこと！

あなたはどうでしょうか？

**祈り** 天のお父様、人から注意されるようなことがあったら、すなおに自分のしたことを変えていけますように。

## 4月21日(土)



ルカ 3・21～22

イエスもバプテスマを受けて祈って  
おられると、天が開けて、聖霊が  
はどのような姿をとってイエスの  
上に下り、そして天から声がした。 21～22節

神様に自分から近づくことなんてできない罪深い人間のために来られ、「あなたのそばにいますよ」とイエス様の生き方は教えてくれます。そして、そばにいてくださるどころか、その命をあなたのために捨ててくださったのです。

バプテスマを受けること、聖霊を受けること、神様を愛すること、お祈りすること、赦すこと、だれかのそばにいて助けること、人のために生きること…イエス様はあなたにもなってほしいと願われているんだよ。

**祈り** 天のお父様、イエス様がしてくれたことに、少しでもならえますように。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 4・1～13  
荒野の誘惑  
人はパンだけで生きるものではない。  
ルカ 4・4

目標

み言葉に立って悪魔の誘惑を  
退けられたキリストにならう者  
となる。

4月22日（日）

聖書  
聖句

ルカ 4・4  
人はパンだけで生きるものではない。  
4節

おなかがすいたときに「食べたいな」と感じたり、眠いとき「ねたいな」と思うように「～したい」という気持ち（きもち）は、人が生きていくために必要なことだし、神様がみんなにくれたプレゼント！ でもね、「～したい」は正しく使わなかったり、コントロールできないと、食べすぎたり、寝すぎたり、遊びすぎたりして、健康に悪い影響（えいきょう）を与えてしまうこともあるんだ。

イエス様はね、人が人らしく、しあわせに生きていくために、なくてはならないものは「神様の言葉」だと教えてくれたよ！

いの  
祈り

天のお父様、わたしが健康でしあわせに  
生きるために、あなたの言葉があること  
をありがとうございます。

4月23日（月）

聖書  
聖句

ルカ 4・2  
荒野を四十日のあいだ御霊にひき  
まわされて、悪魔の試みにあわれた。  
2節

どうして神様はわたしをこんな目にあわせるの？ という人がいるけど、わたしたちが会（あ）う悪い出来事（できごと）の多くは、悪魔の働きなんだね。

悪魔はいつも、どうやったら人が神様を信じなくなるか、人を神様から引きはなせるかと、願（ねが）っているからです。

イエス様も、神様のために働こうとしていたときに、悪魔の誘惑を受けました。でも、イエス様は、悪魔からなにをされても、信仰によって勝つことができることを、わたしたちに教えてくださったよ！

いの  
祈り

天のお父様、悪魔に勝つことができる  
イエス様の信仰をください。イエス様から  
もっとたくさん学べますように。

4月24日（火）

聖書  
聖句

ルカ 4・3  
もしあなたが神の子であるなら、こ  
の石に、パンになれと命じてごらん  
なさい。  
3節

イエス様は、弱（よわ）った人を強くし、嵐（あらし）をしずめる力（ちから）のあるお方（かた）でした。だから、こんなことはかんたんに出来るはず。でもね、イエス様はその力（ちから）を、自分のためには使（つか）いませんでした。

世界のさいしょにアダムとエバが、悪魔の誘惑で負けたときは、神様との約束（やくそく）よりも、自分たちの「～したい！」が大事（だいじ）に思（おも）えちゃったんだっただね。まるでわたしたちのよう！

イエス様は悪魔に勝つことで、神様によって生きること、力は自分のためではなく神様のために使うものであることを、教えてくれたね！

いの  
祈り

天のお父様、自分の思い通りにでなく、  
あなたのために力（ちから）を使うことを学べま  
すように。

## 4月25日（水）

聖書  
聖句

ルカ 4・5～7

もしあなたがわたしの前にひざま  
ずくなら、これを全部あなたのもの  
にしてあげましょう。 7節

人の心は、物で満たされることはなく、一度  
手に入れると次のもの、また次と、どんどん欲  
深くなる心の弱さを持っています。でも、ど  
んなお金持ちも、頭のいい人もそれで幸せか  
という、そうではなく、かえって、いつも心の  
どこかにポツカリと穴があいているって。

なぜって、この世にあるものはぜんぶ悪魔の  
もので、にせものの幸せを与えているから。

天国にあるものをたいせつにすると、心の  
穴は消えて、心に本物の安心とよろこびが  
くることが知っててください。

いのちの祈り 天のお父様、この世のものに心をうばわ  
れず、天国にあるものをたいせつにでき  
ますように。

## 4月26日（木）

聖書  
聖句

ルカ 4・8

主なるあなたの神を拝し、ただ神に  
のみ仕えよ。 8節

お友だちがいっぱいできる人生、お金がたく  
さん手に入る人生、有名でなにも不自由なんて  
ないように見える人生…。もしそのようになった  
としても、神様の愛を知らない人生、天国を  
知らない人生、たった 100年の地上での幸せ  
とひきかえに、永遠の命と天国という祝福を  
失ってしまう人生ならば、さびしいものだね。

だけど、多くの人は、神様よりもお金や地位  
や恋やほかのことしか見ようとはしません。

あなたはどうか？ なにをまず一番にし、  
たいせつにし、なにに仕える人生を生きたいで  
すか？

いのちの祈り 天のお父様、目の前の幸せよりも永遠の  
ことや、あなたのことを思う人生を歩め  
ますように。

## 4月27日（金）

聖書  
聖句

ルカ 4・9～11

もしあなたが神の子であるなら、こ  
こから下へ飛びおりてごらんない。 9節

聖書の言葉をおぼえるとき、どんなふうにお  
ぼえますか？ いっぱいおぼえるのもたいせつ  
なこと。でも、それがどんな意味で書かれたの  
か知らないなんてこと、あるよね！？

悪魔のずるいところは、聖書の言葉であって  
も、上手に使うと人をだまそうとすること！  
あなたがまちがって聖書のことばを使うよう  
に、笑いながらそっと心にささやくのです。

だからこそ、ちゃんと理解すること、正しく  
おぼえること、聖霊に助けてもらわなければならない  
んだね！

いのちの祈り 天のお父様、勝手に聖書を理解するの  
でなく、どんな意味なのか理解できるよう  
に、導いてください。

## 4月28日（土）

聖書  
聖句

ルカ 4・12

主なるあなたの神を試みてはなら  
ない。 12節

神様なんだからこれくらいのこと、わたしに  
はしてくれるよね！ ゆるしてくれるよね！  
…さいごにはとうとう、こうなったのは神様の  
せい！ なんてこと、ないかなあ？

神様はね、地上で人生をよりよく生きられる  
ように、聖書の言葉から知恵を与え、人生の道  
や目的を示してくださるよ。でもね、選  
取るのも、生きていくのも、あなた。

あなたの地上の生き方や考え方や、神様は見  
ておられるよ。イエス様が地上で悪魔と戦  
って勝ったように、十字架という目的まで歩き  
切ったように、あなたにも人生を力強く歩ん  
でほしいと願われているんだよ。

いのちの祈り 天のお父様、イエス様のように、力強く  
人生を歩みきる力をください。





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 5・1～11  
キリストの弟子として  
そこで彼らは舟を陸に引き上げ、  
いっさいを捨ててイエスに従った。  
ルカ 5・11  
自分の無力と罪深さを覚え、キ  
リストに従う者となる。

目標

4月29日(日)

聖書  
聖句

ルカ 5・1～11  
そこで彼は舟を陸に引き上げ、いっ  
さいを捨ててイエスに従った。11節

漁師さんたちとは、何をする人たちでしょ  
う? ハイ、お魚を取る人たちです。その通り!  
ところが、このゲネサレ湖畔で漁をしていた  
漁師さんたちは夜通し働いたのに、何も、一匹  
の魚も取れなかったのです。お手上げ状態で  
した。ところがイエス様のひとこと、「沖へこ  
ぎ出して、網をおろして漁をしてみなさい」の  
通りにしたら…オーッ、大漁! 「人間をとる  
漁師になるのだ」とまたイエス様から言われて、  
漁師さんたちはイエス様に従いました。

祈り  
天のお父様、漁師たちは何と素晴らしいお  
方に会ったことでしょう! わたしも彼ら  
のように主に従います。

4月30日(月)

聖書  
聖句

ルカ 5・1～2  
漁師たちは、舟からおりて網を洗っ  
ていた。2節

「アーラ! いい所でお会いしましたねエ」っ  
て、人との出会いというのは決して自分で計画  
したり、計算して与えられるものではありません  
ね。イエス様のお話が聴きたくて聴きたく  
て、群衆、そう、たくさんの人々がイエス様の  
ところに押し寄せてきたのでした。ついにゲネ  
サレの湖畔まで! ちょうどそこに二そうの  
小舟があって、漁師たちは、舟からおりて網を  
洗っているところでした。イエス様との感動的  
な出会いが目の前だとは全然知らないで!

祈り  
天のお父様、素晴らしい出会いはいつも普  
通の毎日の中で与えられるのがわかり、一  
日一日がとても楽しみです。

5月1日(火)

聖書  
聖句

ルカ 5・3  
シモンに頼んで岸から少しこぎ出さ  
せ、そしてすわって、舟の中から群衆  
にお教えになった。3節

二そうの小舟の持ち主のひとり、シモンで  
した。イエス様は、群衆が押し寄せて来るので、  
ついにその一そうの小舟、シモンの小舟に乗り  
込まれたのです。シモンは押し寄せる群衆にま  
ず驚き、次にイエス様がシモンの舟に乗り込ん  
でこられたのにも目を丸くしたでしょう。おま  
けに岸から少しこぎ出してほしいと頼まれて、  
またビックリだったでしょう。その中からイエ  
ス様はどんなにか大声でお話されたことで  
しょうか。一体何を話されたのでしょうかね!?

祈り  
天のお父様、シモンにとっては、思いも  
かけない、突然のイエス様との出会いで  
した。イエス様との出会いを感謝します。

## 5月2日（水）



ルカ 5・4～5

しかし、お言葉ですから、網をおろしてみましよう。 5節

いよいよイエス様のお話 も終わりと なりました。するとイエス様はシモンに向かって、「沖へこぎ出し、網をおろして 漁 をしてみなさい」と言われます。シモンの頭の中は、「???」イエス様は時々、小さなわたしたちの脳みそやハートではわからないと思われることを言われます。シモンはどう答えたでしょう? 「先生、漁師のわたしたちが夜通し 働 いたのに一匹も取れなかったのですよ…でもあなたのお言葉ですから網をおろしてみます」と。

**いの 祈り** 天のお父様、あなたやイエス様が言われることがわからない時も、あなたのお言葉を大切に思い 従 ってみます。

## 5月3日（木）



ルカ 5・6～7

そしてそのとおりにしたところ、おびただしい魚の群れがはいって、網が破れそうになった。 6節

「スゴーイ!!」イエス様が言われたとおりにしたのです。するとどうでしょう! 「おびただしい魚の群れ」が網の中にとびこんできたではありませんか! 〈君たち、今までどこにいたの!?〉って言いたいくらい。網が破れそうになりましたが、破れなかったのです。きっとシモンや他の漁師さんたちのハートも 驚 きと感激で破れそうになったかも! そうなのです。イエス様のお言葉をそのまま、まともに受け取って、信じて 従 うとこんな奇跡が起こるのです。

**いの 祈り** 天のお父様、「そのとおりにしたところ」とのみ言葉をモットーに、いつでもどこでもどんなことでも 従 います。

## 5月4日（金）



ルカ 5・8～9

主よ、わたしから離れてください。わたしは罪深い者です。 8節

「HELP! (助けて!)」と、シモンは、魚があまりに多くて、一そうの小舟だけではとても岸まで運べないので、もう一そうの舟に来るよう頼みました。そうして二そうの舟にいっぱい引き上げて入れると、舟が沈みそうになったのです! そんな超 大 漁 でした! それをみたシモンの心の中に、自分がイエス様の前にどんなにか力のない弱い汚れた罪人なのかハッキリと示されたのです。イエス様のひざもとにひれ伏して告白しました。この心が、実は一番神様に 喜ばれる心 なのですね。

**いの 祈り** 天のお父様、あなたのお言葉の 力 の前に、わたしも自分の罪深さを悟ってひれ伏し、ますます 従 わせてください。

## 5月5日（土）



ルカ 5・10～11

恐れることは無い。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ。 10節

もちろん、そう思ったのはシモンだけではありませんでした。ゼバダイの二人の子ら、ヤコブとヨハネも同じでした。すると、イエス様はシモンに言われたのです、「恐れることは無い。今からあなたは人間をとる漁師になるのだ」と。『人間をとる漁師』とは、罪深く、滅びゆくこの世の海の中から人々を救い出して、天の御国の民とする、この地上で最高最大の漁師です。シモンはもちろんのことヤコブもヨハネもすべてを捨てて主に 従 いました。

**いの 祈り** 天のお父様、わたしも、「救うためにおいでくださったイエス様」に 従 って人々の救いのためのお手伝いをさせてください。



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 5・27～32

罪人を招くキリスト

わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。

ルカ 5・32

目標

罪人を招かれるキリストを信じ、従う者となる。

5月6日（日）

聖書  
聖句

ルカ 5・27

イエスが出て行かれると、レビという名の取税人が取税所にすわっているのを見て、「わたしに従ってきなさい」と言われた。 27節

先週は、漁師のペテロが、イエス様の弟子になったお話でした。イエス様が、ほかにどんな人を弟子にされたかという、なんと取税人レビ。そのときの取税人は、人々に「税金をはらえ！」とむりやりお金を集めて、それをこっそり自分のサイフにも入れていたのです。みんなそれを知っていて、いやがっているのにやっていました。レビも。取税人なんか最悪！って、きらわれ者でした。イエス様はどうして、そんな人を弟子にしたのでしょうか。イエス様の深いみこころを教えてください。

いの祈り

天のお父様、わたしにはわからない、イエス様のみこころを教えてください。

5月7日（月）

聖書  
聖句

ルカ 5・27～28

すると、彼はいっさいを捨てて立ち上がり、イエスに従ってきた。

28節

イエス様に声をかけられたときの、レビのおどろきと感動といったら！すぐに立ちあがって、イエス様に従いましたよ。取税人から、いっきにイエス様の弟子へ！

「罪人」として、きらわれていたレビ。罪だとわかっているし、きらわれているのもわかっているけど、この生活をやめられない。しかし、イエス様は、レビを弟子にしてくださいました。罪をおかす生活をやめさせてくださったのです。イエス様に、罪の生活をやめさせるお力があるのです。

いの祈り

天のお父様、イエス様だけが、わたしが罪をおかす生活をやめさせてくださいます。心から信じます。

5月8日（火）

聖書  
聖句

ルカ 5・29

取税人やそのほか大勢の人々が、共に食卓に着いていた。 29節

レビは、自分のもつ財産を神様にささげるけっしんをしました。そして、イエス様のために盛大なお食事会をひらいたのです。レビは、取税人の仲間たちや、罪人とよばれている人たちも招きました。取税人、罪人、大集合…！

取税人だったレビだから、このような人々をイエス様のところにつれてくることができたのです。あなたの家族や友だち、その中のたった一人でもイエス様のところにつれていくことができれば、すばらしいことです。それは、あなただけがすることなのです。

いの祈り

天のお父様、わたしの家族や友だちを、イエス様のところにつれていくことができよう、みちびいてください。

## 5月9日（水）



ルカ 5・30

どうしてあなたがたは、取税人や  
罪人などと飲食を共にするのか。

30節

今日の箇所は、パリサイ人や律法学者たちのことば。「取税人や罪人とよばれる人とは、ぜったいかわらない」、と彼らは考えていたのです。だから、「なんで食事なんかするの、こんな人たちと！」というわけです。イエス様と弟子たちのことを、おかしい！と思っています。

でも、わたしたちもこういうことをしていないでしょうか。「あんな人とはかわらないようにしよう」「無視しよう」…。こういう考えこそ、おそろしい罪なのに、わたしたちはなかなか気づかないのです。

いの  
祈り

天のお父様、人をきらって、かわらないようにしたり、無視したりする罪から、わたしを守ってください。

## 5月10日（木）



ルカ 5・31

健康な人には医者はいらない。いるのは病人である。

31節

イエス様は、ここで、正しい人を「健康な人」、罪人を「病人」、イエス様を「医者」にたとえておられます。げんきで健康な人には、医者はひつようありません。病気の人にはひつようですね。おなじように、罪をおかさない正しい人には、イエス様はひつようないでしょうけど、罪人にはイエス様がひつようです。

でも、ほんとうは、イエス様がひつようない「正しい人」なんて、どこをさがしたっていません。パリサイ人たちだって、じつは病人。つまり罪人なのです。イエス様は、ほんとうはそこに気づいてほしいわけなんです…。

いの  
祈り

天のお父様、わたしは罪人ですからイエス様がひつようです。わたしを罪から救ってください。イエス様に感謝します。

## 5月11日（金）



ルカ 5・32

わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。

32節

イエス様は、なんのために地上にいられたのでしょうか。正しい人を招くため？ いいえ、罪をおかさない正しい人はいないのでしたね。イエス様は「罪人を招いて悔い改めさせるため」にいられたのです。どんな罪人でも、「わたしのところにおいで！」とよんでくださいます。罪をきちんと教えて、悔いあらためさせてくださいます。

「悔改め」というのはね、罪をおかす生活から、イエス様とともに歩むあたらしい生活に、方向を変えることを言うのです。

いの  
祈り

天のお父様、わたしを、イエス様と共に歩むあたらしい生活へ方向をかえさせてください。

## 5月12日（土）



ルカ 5・27～32

「わたしに従ってきなさい」といわれた。

27節

わたしたち罪人を招いて、悔いあらためさせ、弟子にしてください。イエス様。レビがそうでした。彼はその後、イエス様から「マタイ」という名前をもらいます。そう、マタイによる福音書を書いた人です。取税人だったのに、すばらしいお弟子さんになったのですね！ これは、彼も想像できなかった、おどろくべきこと。

イエス様は、あなたのことも呼んでおられます。イエス様の招きにこたえて、みことばに従っていきませんか。イエス様は、かならず、あなたを用いられます。イエス様に従っていくと、おどろきと恵みの連続ですよ。

いの  
祈り

天のお父様、イエス様の招きとみことばに従っていきます。あなたの恵みをたくさん体験させてください。

はは ひ  
母の日



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

ルカ 2・41～52

両親に仕えるイエス

それからイエスは両親と一緒に  
ナザレに下って行き、彼らにお仕  
えになった。

ルカ 2・51

両親を大切にし、助ける者となる。

目標

5月13日（日）

聖書  
聖句

ルカ 2・41

さて、イエスの両親は、過越の祭に  
は毎年エルサレムへ上っていた。

41節

今日は、母の日です。あなたを愛して育てて  
くださるお母さんに感謝しましょう。今日はと  
くべつに、お手伝いする！という人もいるか  
な？ きっとよろこばれるでしょうね。いつもお  
母さんを大切に、手伝えることができたなら、  
もっとすてきなことです。お父さんにもね！

イエス様にも、地上でのお父さん、お母さん  
がおられました。そう、ヨセフとマリヤです。  
今週は、子どもたちのイエス様と両親のお  
話。子どもでも、イエス様はやっぱりイエス様。  
わたしたちに、たくさんのおしえてくださ  
います。

いの祈り 天のお父様、子どもたちのイエス様のすがたか  
ら、みこころを教えてください。

5月14日（月）

聖書  
聖句

ルカ 2・42～45

少年イエスはエルサレムに居残って  
おられたが、両親はそれに気づかなか  
った。

43節

イエス様が12歳の時のこと。イエス様は両親と  
いっしょに過越の祭にでかけられました。祭が  
おわって、ぜんいんでゾロゾロ帰るはずが、イエ  
ス様はエルサレムに残られたのです。「あれっ！  
イエスがいない！」両親が気づいたのは一日歩  
いたあと。それはもう青くなってさがして、つい  
にエルサレムに引き返したのです。

イエス様はちゃんとわけがあつて残られたん  
ですが、こうやって両親に心配される経験があつた  
んですね！ 心配してくれる親がいるって、神様の  
恵みですよ。しあわせなことですよ。

いの祈り 天のお父様、わたしのことを心配してくれ  
る両親は、あなたの恵みです。感謝します。

5月15日（火）

聖書  
聖句

ルカ 2・46～47

聞く人々はみな、イエスの賢さやそ  
の答に驚嘆していた。

47節

両親は、三日たつてやっといエス様を見つけ  
ました！ イエス様がいたのは、なんと宮の中。  
イエス様はしんけんに聖書の教師たちの話を  
きいたり、しつもんしたりされていました。イ  
エス様のあまりのかしこさに、教師も人々も  
びっくり！

12歳のイエス様にとって、いちばん関心が  
あつて、いちばん大切にされていたのは、神様の  
みことばだったんです。神様のみことばのすば  
らしさ、みことばの力は、みことばをいちばん  
大切にしていくと、子どものときからハッキリ  
体験できます！ あなたは体験してる？

いの祈り 天のお父様、あなたのみことばのすばらし  
さを、もっと体験できるようにしてくださ  
い。

## 5月16日（水）



ルカ 2・48

ごらんなさい、おとう様もわたしも心配して、あなたを捜していたのです。  
48節

「どうしてこんなことをしたの？」とイエス様のお母さん。でも、むりもありません。イエス様が見つかってホッとしたけれど、どんなに心配したことか…。胸がはりさけそうになりながら、必死で息子であるイエス様をさがしたのです。

神の子イエス様が、地上での両親から、あたたい愛をうけておられたことがわかります。両親からたくさんの愛をうけて育てられる経験をされたんですね。ほんとうにすてきです。お母さんはね、あなたが大好きで、心配で、…ちょっと言いすぎちゃうものなんですよ。

**祈り** 天のお父様、わたしを愛して育ててくれる両親を心から感謝します。

## 5月17日（木）



ルカ 2・49～50

わたしが自分の父の家にいるはずのことを、ご存じなかったのですか。  
49節

イエス様はここで、神様を「自分の父」と言われました。そのような言葉は、だれも言ったことがない言葉でした。少年イエス様は、ご自分が神の子で、使命があることをわかっておられたのです。神の宮にいることは、イエス様にとっては自然なことだったのです。両親は、イエス様が生まれるとき「神の子」だと聞いたはずだけど、頭の中でつながらなかったみたい。

子どものときに、しょうらいの神様からの使命をかんがえるって、すごく大切。もちろん、子どものときにも神様からあたえられている使命があります！

**祈り** 天のお父様、あなたがわたしにあたえておられる使命を、教えてください。

## 5月18日（金）



ルカ 2・51

それからイエスは両親と一緒にナザレに下って行き、彼らにお仕えになった。  
51節

両親は、イエス様が言われたことがわかりませんでした。しかし、イエス様はもんくを言いませんでした。両親といっしょに家に帰って、彼らに仕えられました。お父さん、お母さんに従って、大切にされたのです。

イエス様は神の子なのに、人間の両親に仕えられたのですから、わたしたちはなおさら、両親に仕えなければいけませんね。ぎゃくに、両親にわがまま言って仕えさせていないですか？ ちょっと反省…という子もいるかな？ 少年イエス様は、わたしたちの最高のお手本ですね。

**祈り** 天のお父様、イエス様のように、両親に仕える人にならせてください。

## 5月19日（土）



出エジプト 20・12

あなたの父と母を敬え。これは、あなたの神、主が賜わる地で、あなたが長く生きるためである。  
12節

今日のみことばは、神様からの大切な十の教えのひとつ。少年イエス様は、このみことばに真剣に従って、両親を大切に、助けつづけられたのです。

神様は、お父さん、お母さんを大切に助ける人をよろこばれます。長く、ずっと祝福されます。ぎゃくに、両親にさからって祝福がなくなってしまう人は多いのです。あなたがイエス様のように両親を大切に、祝福の人生をあゆんでほしい…。それが、神様の願いなのです。

**祈り** 天のお父様、わたしの両親を大切に、助けていただけますように。神様の祝福を受ける人生にさせてください。

ペンテコステ



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

使徒1・3～8  
御霊の恵みを求める  
ただ、聖霊があなたがたにくだ  
る時、あなたがたは力を受けて、  
…わたしの証人となるであ  
ろう。 使徒1・8  
聖霊に満たされることの必要を  
知り、聖霊の恵みを求める。

目標

5月20日（日）

聖書  
聖句

使徒1・3～8  
ただ、聖霊があなたがたにくだる時、  
あなたがたは力を受けて、…わたし  
の証人となるであろう。 8節

ペンテコステ、心よりおめでとうございま  
す！ へ？ ヘンテコスケ？ ヘンテコリンな  
名前だと思うかしら。これはすばらしい記念  
日の名前なのです。イエス様は十字架で死に、  
葬られて、三日目によみがえられ、何と四十日  
の間復活の姿を弟子たちにあらわされまし  
た。それから天に帰って行かれましたが、その代  
わりに「聖霊なる神様」が天から注がれました。  
この聖霊に満たされてペテロが話すと、三千人  
の人がイエス様を信じて、教会が誕生しまし  
た！

いの祈り 天のお父様、ただ聖霊に満たされてはじ  
めて力強くあなたをあかしできます。  
聖霊に満たされるよう求めます。

5月21日（月）

聖書  
聖句

使徒1・3  
四十日にわたってたびたび彼らに  
現れて、神の国のことを語られた。  
3節

今年のイースター（復活祭）は何日だったか  
覚えていますか？ そう、4月1日（日）でしたね。  
盛大にイースター祭りをしたのでしょうか？ た  
くさんの新しい人たち、お友だちが教会に招  
かれて来られたのでしょうか。その日から数えて  
昨日が五十日目だったのです。復活されたイエ  
ス様は、四十日の間、あちらこちらで、たび  
たび弟子たちの前に現れてくださいました。  
その様子も学びましたね。そして「神の国」の  
ことをしっかり弟子たちに語られたのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様は「神の国」を教え  
てくださるために来てくださいました。  
「神の国」を待ち望みます。

5月22日（火）

聖書  
聖句

使徒1・4～5  
エルサレムから離れないで、かねて  
わたしから聞いていた父の約束を  
待っているがよい。 4節

「おつかい行ってきたー」「ハーイ！」って、  
お金も持たず、何を買ってくるのかも知らない  
で出かけて行く人はいないでしょう？！ ちゃん  
と用意すべきことをしてから、「行ってきたー  
す」ということになるのです。「神の国の福音」、  
「イエス様の福音」を人々に力強く伝えていく  
ために、一番必要な用意は何でしょう？ 「父の  
約束」つまり、聖霊によるバプテスマを授けら  
れるということなのです。そのためにエルサレ  
ムにとどまって待ちなさいと。

いの祈り 天のお父様、あなたのお約束である聖霊  
によるバプテスマを私も授けられて、イ  
エス様を伝えたいです。

## 5月23日（水）

聖書  
聖句

使徒1・6～8

ただ、聖霊があなたがたにくる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。 8節

復活のイエス様を見た弟子たちは、それぞれ勇気百倍、イエス様へは100%信頼。「いよいよイスラエルの国を、ローマから独立させて復興させるのですか」とたずねます。「それは父にお任せするとして、あなたがたが聖霊に満たされると力を受けて、わたしの証人になるのだよ」と言われます。この力はこの世の軍事力や武力ではなく、主の証人として生きていく力のことなのです。

いの  
祈り

天のお父様、この世の国でなく、神の国は聖霊に満たされた人たちによって、広がっていくことがわかりました。

## 5月24日（木）

聖書  
聖句

使徒1・8

ただ、聖霊があなたがたにくる時、あなたがたは力を受けて、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、さらに地のはてまで、わたしの証人となるであろう。 8節

「私、教会に行ってるのよ」って、お友だちに言えない子がいますか？聖霊に満たされると、喜んで言えるのです。お祈りして求めてみてください。弟子たちは、まず自分たちが住んでいたエルサレムからはじめて、「イエス様こそ救い主です」と大胆にあかししていけるように、十日間、お祈りして、聖霊の降るのを待ち、ついに注がれたのです。この聖霊の働きにより、イエス様のことが地のはて日本まで届きました！

いの  
祈り

天のお父様、私も聖霊に満たしてください。家族のみんなに伝えて家族でイエス様を信じられますように。

## 5月25日（金）

聖書  
聖句

マタイ6・28～30

野の花がどうして育っているか、考えて見るがよい。 28節

5月20日（日）は、ペンテコステ記念日でしたね。そして、今年は6月10日（日）が「花の日・子どもの日礼拝」ですね。きれいなお花を素敵な花束にしたり、バスケットにアレンジして、病気の方やさびしい方々にお届けする美しい日です。イエス様は、野の花を見なさい、アレコレ心配したりしないようにとお話しされたのです。野の花は、働いたりすることもなく、神様に造られたありのままの姿で、まぶしいくらい美しく輝いて咲いています。あなたのことも心配して下さっています。

いの  
祈り

天のお父様、私も野の花たちのように、すっかりあなたにおまかせして、安心して喜んで生きていきます。

## 5月26日（土）

聖書  
聖句

マタイ6・31～34

まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう。 33節

何を食べようかな、何を飲もうかな、何を着ようかな、明日はどんな日になるのかな、あさってはどうなるのかな、あのことはどうなっていくのかな、このことはどうなのかなって、ドキドキ、ハラハラ、くよくよしたりする子はいませんか？イエス様が、「みんな大丈夫だよ、何にも心配することはありませんよ。とにかく、神様は全部わかってくださって、よくして下さいますから！まず、第一に神様を求め信じていきましょう」と言われます。

いの  
祈り

天のお父様、きょうのみ言葉をありがとうございます！いろいろな心配するのをやめて、教会学校に励みます！





聖書  
テーマ  
暗唱聖句

サムエル上3・1～14  
幼な子サムエル  
しもべは聞きます。主よ、お話し  
ください。 サムエル上3・9

目標

日々、神の御声を聞いて生きる。

5月27日（日）

聖書  
聖句

サムエル上3・9  
しもべは聞きます。主よ、お話し  
ください。 9節

神様はどんな人にお話ししてくれると思いますか？ 大人の人？ えらい人？ 教会の先生？

神様は、小さな子どもだとしても、大切なことをお話しすることがあります。「しもべは聞きます！」とすなおに聞いて従う心になるなら、あなたも神様の声に気づくはず！

神様の愛がどんなに大きいのか、あなたの罪のこと、イエス様の十字架のこと、沢山のことがただ「ふ～ん」って聞くんじゃなくて、自分のためだってことがわかるんだ。

小さなサムエルも、神様の言葉を聞きのがさないように、心の耳もすまして聞いたんだよ。

いの祈り

天のお父様、サムエルのような素直に聞いて従う心で、あなたの話を聞きます。

5月28日（月）

聖書  
聖句

サムエル上3・1  
そのころ、主の言葉はまれで、黙すも常ではなかった。 1節

聖書がなかったら、教会がなかったら、教会の先生がいなかったら、どうやって神様の気持ちや神様の言葉を知ればいい？

神様は、人間を「神のかたち」に似せて特別に造られました。神様の気持ちや言葉がわかるようにしてくれたってことだね！でも、人間は自分勝手ばかりして、かんたんに神様を捨ててしまうんだ。神様の言葉を聞こうとしないから、神様の言葉が聞こえなくなってしまったんだね。サムエルの時代もそうだね。神様のお話しの聞き取りにくい時代でした。

いの祈り

天のお父様、こんな時代にも聖書や教会の先生から、あなたの言葉を聞くチャンスをご下さり感謝します。

5月29日（火）

聖書  
聖句

サムエル上3・6  
主はまたかさねて「サムエルよ、サムエルよ」と呼ばれた。 6節

あなたは神様にどんなお祈りをしますか？ 「ああしてください。こうしてください。」と一生懸命にお願いはするかもしれませんがね。

お祈りはね、神様とお話しする時間！お友達とお話しするとき、あなただけがしゃべってるなんてことはないでしょう？

聖書には、神様があなたにお話ししたいことがいっぱい詰まっているよ。そして、サムエルが神様のお話しを一生懸命聞こうとしたみたいに、聖書の一枚一枚を見て！神様はサムエルを呼んだようにあなたに呼びかけ、大切なお話しをたくさんしてくれるでしょう。

いの祈り

天のお父様、あなたのお話しを聞くために聖書の一枚一枚を読みます。

## 5月30日（水）

聖書  
聖句

サムエル上3・2～9

サムエルはまだ主を知らず、主の言葉がまだ彼に現されなかった。  
7節

サムエルが神の箱のある神殿で寝ていたとき、「サムエルよ、サムエルよ」という声で起きました。きっとエリが呼んだんだと、エリの所へ行ったけどエリの声じゃなかったの。それが三回も続いたから、エリはそうか！と気づきました。そしてサムエルに、それは神様の声だから「しもべは聞きます。主よ、お話しください」と言うよう教えました。エリは長い間 神様のために働いてきた人だからわかったんだね。

今日も、神様はあなたを呼んでいるかもしれないね。そのことに気づかせてくれる人がいるときは、聞く心のじゅんぴをしてくださね。

いの  
祈り

天のお父様、誰かがあなたの声に気づかせてくれるなら、すなおに聞きます。

## 5月31日（木）

聖書  
聖句

サムエル上3・10～11

それを聞く者はみな、耳が二つとも鳴るであろう。  
11節

神様がわたしたち一人ひとりにお話ししてくれるってすごいことだね！

でも、神様のお話しはいつもうれしい、たのしいことばかりでしょうか？いいえ！

「もう聞きたくない！いやだ！」って思うようなきびしいこともお話しするんです！

神様は、聖いお方。人が、自分勝手や罪があるままでは永遠に滅んでしまうことを悲しまれます。もし、あなたが神様を信じるのなら、うれしいことばかりではなく、耳がいたいくらいきびしいしいことも聞きましょう。あなたは神様のしもべ、神様の子どもなんだから！

いの  
祈り

天のお父様、きびしいお言葉も聞きます。わたしはあなたの子ども、あなたのしもべです。

## 6月1日（金）

聖書  
聖句

サムエル上3・12～14

その子らが神をけがしているのに、彼がそれをとめなかったからである。  
13節

サムエルは神様からなにを聞いたのかな。実は、エリの子どもは、神殿に礼拝に来た人たちが神様に捧げたものを、取っては食べていたのです。これは神様のものをうばう罪です！

神様は悔い改めるチャンスを与えましたが、だれも悔い改めようとはしませんでした。

サムエルは、エリの子どもだけでなく、子どもの罪を止められなかったエリも、エリの家も、永遠に裁かれることを聞いたのでした。

神様を恐れ仕える人への責任のきびしさ！

いの  
祈り

天のお父様、誰かの罪を見たなら、いいかげん加減にせず、止められますように。

## 6月2日（土）

聖書  
聖句

サムエル上3・12～14

エリの家が悪は、犠牲や供え物をもってしても、永久にあがなわれな  
いであろう。  
14節

人間は、神様から遠くはなれているなあ！と思います。神様と人間をはなれさせているもの、それは悪魔です。人間が悪魔をよこばせ、神様を悲しませる生き方をするようにと、悪魔は昔も今も必死で働いているんです。

神様を信じている人なら大丈夫？ いいえ、教会の中にも、神様を信じているからと安心して人にも、悪魔は入りこんでくるのです。

悪魔の働きに負けないようにするにはどうしよう？ ただ毎日、神様の言葉を聞き、従うほかありません！

いの  
祈り

天のお父様、悪魔に負けてあなたからはなれませんように！み言葉を聞きます！



聖書  
デーマ  
暗唱聖句

サムエル上 16・6～13  
ダビデの油注ぎ  
人は外の顔かたちを見、主は心を見る。 サムエル上 16・7

目標

心を見られる神に喜ばれるように生きる。

6月3日(日)

聖書  
聖句

サムエル上 16・7  
人は外の顔かたちを見、主は心を見る。 7節

あなたが王様を選ぶなら、どんなことが一番大切だと思いますか？ 筋肉モリモリでなんでもできること？ 天才でむずかしい問題も解決できること？ 背が高いイケメンであること？

イスラエルの最初の王様サウルも、背が高くてカッコよかったよ。でもサウル王様は自分勝手に、神様に従うことをやめてしまったんだ。神様はとても悲しんで、サウルではない王様を選ぶことにしたの。

神様が喜ばれ、選ばれる人は、その心がまっすぐ神様に向かっていて、神様に一番に従える人だということを忘れないでね。

いの祈り

天のお父様、自分勝手な心でなく、まっすぐな心であなたに従えますように。

6月4日(月)

聖書  
聖句

サムエル上 16・6  
サムエルはエリアブを見て、「自分の前にいるこの人こそ、主が油をそそがれる人だ」と思った。 6節

サムエルは、神様に、エッサイという人に行きようと言われました。エッサイの子どもの中に、新しく王様になる人がいるからです。

サムエルがエッサイの子どもたちに出会ったとき、まずエリアブを見て“なんて立派で健康でかっこいいんだ！ この人が王様になるんだな！”と思いました。でも、サムエルが見ていたのは、どんなにかっこいいか、立派か、健康そうか、強そうか、という見た目のことでしかありませんでした。あなたは人を「見る」とき、どんな風に見ていますか？

いの祈り

天のお父様、見た目ばかりを気にする弱い心を強くしてください。

6月5日(火)

聖書  
聖句

サムエル上 16・7  
顔かたちや身のたけを見てはならない。 7節

どうしてカッコ良さとか背の高さとかで人を見ちゃいけないの？

あなたが大切なことを決める時、人のカッコ良さや身長や頭の良さだけで決めるということは、例えば、本の表紙だけ見て全部読んだ気になってるのとおんなじ事だよ。表紙の部分が大切なんじゃなく中身が大切！ そうでしょ？

あなたもそう。神様は見た目のあなたではなく、中身のあなた、本当のあなたのことを見ておられるんです。

神様が本当のあなたを見てくださるように、あなたも、人を見るなら見た目でなくて、その中身を見ることができるようになってね！

いの祈り

天のお父様、わたしも人の見た目ではなく、中身を大切にできますように。

## 6月6日(水)



サムエル上 16・8～10

主が選ばれたのはこの人たちではない。 10節

サムエルは、エッサイの7人の子どもに会いましたが、神様は心を見て、7人とも王様になる人ではないと言われました。

神様の答えには「NO!」があります。神様に従わない心がある時、自分勝手に生きる心がある時、まちがった道を行こうとする時、神様は「そうではない。わたしはそれを喜ばない!」と言われるのです。

それは、あなたが最高の人生を歩むため、あなたが神様に喜ばれるいちばん良い答えを見つけるため、悪魔に負けないで永遠の命をもらうためなのです。

**祈り** 天のお父様、あなたが「違うよ」という時は、わたしにいちばん良い答えを用意してくださる時だと信じます。

## 6月7日(木)



サムエル上 16・11

彼がここに来るまで、われわれは食卓につきません。 11節

7回も神様の「NO!」を聞いたサムエル。でも、サムエルは信じていました。今日、素晴らしい王様が誕生するって! エッサイにはまだほかに子どもがいて、その子に会うまでは絶対あきらめないって言ったの!

神様が「そうじゃない! それはいけない!」とあなたに何回も言われたら、すぐにあきらめたり、すねたり、やっぱり神様に従うより自分の思うとおりにしたいと思いませんか?

でも、それは神様からあなたへの信仰のテスト! 神様が喜ばれる答えを見つけるまでは、絶対にあきらめないこと。どんな風にあなたが答えるか、神様も見ておられるのです。

**祈り** 天のお父様、あなたが喜ばれる答えをくださるまで諦めません!

## 6月8日(金)



サムエル上 16・12～13

立ってこれに油をそそげ。これがその人である。 12節

ついにサムエルはダビデという少年に出会いました。ただ見た目が美しいだけではなく、きらきら輝く目の奥に、とても美しい心が見えるようでした。その時、サムエルは、神様がダビデを選んでおられることがわかって、ダビデに特別なお祈りをしました。すると、ものすごい神様の力がダビデを包んだのです!

神様が選び、神様が喜ばれる特別な人には、神様の大きくてすばらしくて、ものすごい力が注がれるんだね!

神様を信じるあなたも選ばれた特別な人! 神様の大きな力に包まれているよ!

**祈り** 天のお父様、世界の中でわたしを選んでくださり、いつも大きな力で包んでくださってありがとうございます。

## 6月9日(土)



使徒13・22

彼はわたしの心になかった人で、わたしの思うところを、ことごとく実行してくれるであろう。 22節

神様は、ダビデのどういう心を良いと思っ

て選ばれたの?

①ダビデはね、こういう人でした。  
①神様が願っておられることを行うことが自分の喜びだった。

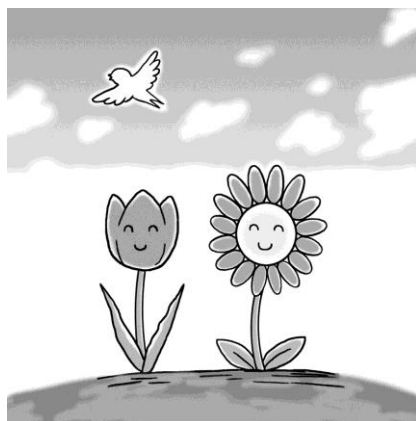
②神様がいなくては生きていけないと思うほど神様に頼る人だった。

③神様が喜ばない罪がある時は、心から、すなおに悔い改める人だった。

ダビデのような、神様を頼り、神様に従い、すなおに悔い改める心でいようね!

**祈り** 天のお父様、あなたに頼って生きます。ダビデのような心で毎日を過ごせますように。

はな ひ こ 子どもの日  
花の日・子どもの日



聖書  
テー マ  
暗唱聖句

マタイ 6・25～34

思い煩いからの解放  
野の花がどうして育っているか、  
考えて見るがよい。

マタイ 6・28

目標

必要を備えてくださる神を信頼  
し、心配しないで生きる。

6月10日(日)

聖書  
聖句

マタイ 6・25～34

野の花がどうして育っているか、考  
えて見るがよい。 28節

きょうは一年の内でもとても美しい「花の  
日・子どもの日」の礼拝です。1856年、ア  
メリカで始まりました。色とりどりのお花、形  
もさまざま、香りもまた不思議ですばらしい、数  
えられないほどの種類のお花、胸がいっぱいに  
なりますね。まるで天の花園です！一つひとつ  
のお花は輝いています。天の父なる神様の最高  
のデザインです。このように野の花を美しく咲  
かせてくださる神様はモチロン、あなたには、  
それ以上のことをしてくださいます。

祈り 天のお父様、もう、何を着ようかと自分の  
からだのことや洋服のことで、思い煩っ  
たりは決してしません。

6月11日(月)

聖書  
聖句

マタイ 6・25

命は食物にまさり、からだは着物に  
まさるではないか。 25節

「ああ、心配だなア。何を食べればいいのか  
なア。何を飲んだらいいのかなア」って、命の  
ことで、アレコレ、心配することを、「思いわ  
ずらい」と言うのです。子どもはあまりそんな  
ことはないかもしれませんね。え？ たまにあ  
りますか？ お母さんだったら、毎日毎日、あ  
なたや家族の人に食べさせたり、飲ませたりす  
るから、「思いわずらい病」にかかるかも！  
お母さんと一緒に読んで祈りましょう。食物  
より大切な命を守り養ってくださるのは  
神様です。

祈り 天のお父様、命を与え、養ってくださ  
るのはあなたですから、何も心配しな  
い、感謝してすごします。

6月12日(火)

聖書  
聖句

マタイ 6・25～26

空の鳥を見るがよい。まくことも、刈  
ることもせず、倉に取りいれることも  
しない。 26節

「チチチッ！」と鳴きながら飛んでいる空の鳥  
を指さして、イエス様が言われました、「ごらん  
なさい、あの空の鳥を」ってね。空の鳥がせっ  
せと種まきしているのを見たことがあります  
か？ 鳥たちがかまを持って、刈り入れをしてい  
るのを見たことがありますか？ ノー！ですよ  
ね。それじゃ、鳥たちは一体どうやって生きて  
いるの？ それは、天の父が彼らを養っている  
からです。あの木の実、この木の実と食べます。  
何の心配もしないで鳥たちは生きています。

祈り 天のお父様、空の鳥を養ってくださ  
るあなたが、私たちにも必要な食物は  
じめ、すべてを備えてくださり感謝しま  
す。

## 6月13日（水）



マタイ 6・25～27

あなたがたのうち、だれが思わず  
らったからとて、自分の寿命をわす  
れかでも延ばすことができようか。

27節

「寿命」って!? この地上で生きる命の年の  
数です。つまり何歳まで生きるか、何年この地  
上に生きるかということです。これだけは誰  
にもわかりません。若くして死ぬのか? 百歳  
を超えるほどまでも生きるのか? 本当に誰一  
人わかる人はいないのです。ましてや、何とか  
心配したり、思わすらったからといって、そ  
の寿命をわすれかでも延ばすことも決してでき  
ないのです。それはもう、神様のご計画の中に  
ちゃーんとあって、人はどうすることもできま  
せん。

**祈り** 天のお父様、本当に「命」「地上の寿命」  
はただ、あなたのご計画です。あなたにの  
み信頼して生きていきます。

## 6月14日（木）



マタイ 6・28～30

栄華をきわめた時のソロモンでさえ、  
この花の一つほどにも着飾ってはい  
なかった。

29節

ソロモン王様のまばゆいばかりの神殿! 香  
り高い材木に、金ですべてがおおわれた燭台と  
か机とか…! 南の国シバの女王があまりの  
華やかさ、ぜいたくさにびっくり仰天してし  
まったほどでした。ところがイエス様が言われ  
るのに、その栄華をきわめたソロモンでさえ、  
この花の一つほどにも着飾ってはいなかった  
と! きらびやかなソロモンの衣よりももっ  
とはるかに美しいのが、この野の花なのです。そ  
れはきっと、神の輝く命の美しさの源なのです。

**祈り** 天のお父様、野の花をさえ、このように美  
しく咲かせてくださるあなたが、私たちにもそ  
れ以上よくしてくださると信じます。

## 6月15日（金）



マタイ 6・31～33

まず神の国と神の義とを求めなさい。  
そうすれば、これらのものは、すべて  
添えて与えられるであろう。

33節

おまけつきのグリコのキャラメル! 今もあ  
りますか? おまけつきの小学館の本とか。お  
まけは、別にそれを買おうと思ってお金を出す  
ものではありませんね。キャラメルを買うと、  
ついてくるものです。イエス様は、何を食べよ  
うとか、着ようとか、そういうことはおま  
けですよと言われます。何のおまけ? 神の国  
と神の義を第一にする人のためには、必ず与  
えられるおまけですと。神様をいつでも第一に  
していると、本当に驚くほど満たされます!

**祈り** 天のお父様、日曜日には教会であなたを  
礼拝し、毎日み言葉を讀んで祈るなら、  
すべてが与えられると信じます。

## 6月16日（土）



マタイ 6・31～3

一日の苦労は、その日一日だけで  
十分である。

34節

だから、あすのことをいろいろ、くよくよ、  
心配しなくてもいいですよイエス様は言われ  
ます。朝、目が覚めて、「神様、きょう一日、共  
にいてお守りください」と祈りましょう。この前  
の日曜日の教会学校のみ言葉を言いましょ。う。  
そして、きょうの時間割、きょうも持っていく物、  
きょう出す宿題を忘れずに! 学校が終わると、  
きょうやるべき宿題をして、きょう一日の感謝  
のお祈りをして、もう一度み言葉を言って、明日  
の教会学校を楽しみに寝ましょう。

**祈り** 天のお父様、あすのことを心配しないで、  
あなたにおまかせし、きょう一日を精一杯  
生きていけますように。

ちち ひ  
父の日



せいしよ  
書  
テ マ  
あんしやうせい  
唱聖句

マタイ 7・7～12

てん ちち いの  
天の父への祈り

てん ちち  
天にいますあなたがたの父はな  
おさら、求めてくる者に良いもの  
を下さらないことがあろうか。

マタイ 7・11

ちく ひやう  
目 標

いの こた え あた  
祈りに答えて良いものを与えて  
くださる天の父なる神を信じる。

6月17日(日)

せいしよ  
書  
せいしよ  
聖句

マタイ 7・7～12

てん ちち がた ちち  
天にいますあなた方の父はなおさら、  
求めてくる者に良いものを下さらない  
ことがあろうか。 11節

きようは ちち ひ れいはい とう  
今日は「父の日」の礼拝です。「お父さん、あ  
りがとう！」そして「天の父なる神様、ありが  
とう！」と、心からの感謝をあらわしましょう。

今年の父の日メッセージは、『もっともっと  
天の父に祈ろう!!』ということです。人間の父  
だって、パンを求める子に石を与えたり、魚を求  
める子にへびを与えたりしません。良い贈り物  
しかしないでしょう。天の父なる神様は、もち  
ろん、一番良いものを下さるのです。助け主な  
る聖霊なる神様ですよ。

いの  
祈り

てん とうさま にくしん ちち  
天のお父様、肉親の父にはもらえない  
大切な良いものである聖霊を、あなたが  
与えてくださいますので感謝です。

6月18日(月)

せいしよ  
書  
せいしよ  
聖句

マタイ 7・7～8

もと もの え さが もの み  
すべて求める者は得、捜す者は見い  
だし、門をたたく者はあけてもらえ  
るからである。 8節

さすが、天の父なる神様はすごいと思いませ  
んか？「求めよ、そうすれば、与えられるであ  
ろう」と、大胆にも言うてくださっています。  
肉親のお父さんだと、そんなにガンガン求めら  
れても、「ダメだよ、無理だよ、与えられない  
よ」って、タジタジとなってしまうところで  
しょう。でも天の父なる神様はちがいますね。  
『求めなさい！ 与えられますよ』と言ってく  
ださい。この「父の日」から、よーし、いっ  
ぱい求めていこうと決心しませんか？

いの  
祈り

てん とうさま だいたん まね かんしや  
天のお父様、あなたの大膽なお招きを感謝  
します。すべて求める者は得るとあるのを  
信じてお祈りしていきます。

6月19日(火)

せいしよ  
書  
せいしよ  
聖句

マタイ 7・9～12

なにごと ひとびと  
だから、何事でも人々からしてほし  
いと望むことは、人々にもそのとおり  
にせよ。 12節

私たちは「天の父の子どもたち」ですね。父  
なる神様は、私たちの祈り、願い、望みを聞いて、  
そのようにしてあげたいという御思いを  
持っていてらっしゃいます。お祈りにこたえてい  
ただけて、望みどおりにしていただけたらどん  
なにうれしいことでしょう！ ですから、私た  
ちも、何事でも人々から、ああしてほしいな、  
こうしてほしいなと望むことがあったとしたら、  
まずは私の方からそのようにしてあげましょ  
う。この教えを『黄金律』と言うのです。

いの  
祈り

てん とうさま かんぜん あい かた  
天のお父様、完全な愛のお方であるあな  
たにふさわしい『黄金律』を守って、祝福  
が広げられるとうれしいです。

## 6月20日（水）



ヤコブ1・5～8

ただ、疑わ<sup>うたが</sup>ないで、信仰<sup>しんこう</sup>をもって願<sup>ねが</sup>  
い求め<sup>もと</sup>なさい。 6節

イエス<sup>イエス</sup>様の<sup>さま</sup>弟<sup>おとうと</sup>のヤコブ<sup>ヤコブ</sup>さんは、よくお祈<sup>いの</sup>り  
をする人<sup>ひと</sup>だったみたいです。天<sup>てん</sup>の父<sup>ちち</sup>に祈<sup>いの</sup>り求め  
ようとたくさん書<sup>か</sup>いていますよ。まずは、「知  
恵<sup>ちえ</sup>に不足<sup>ふそく</sup>している者<sup>もの</sup>があれば、その人<sup>ひと</sup>は、とが  
めもせず<sup>お</sup>に惜<sup>あは</sup>しみなくすべ<sup>あ</sup>ての人<sup>ひと</sup>に与<sup>あ</sup>える神<sup>かみ</sup>  
に、願<sup>ねが</sup>い求め<sup>もと</sup>るがよい。そうすれば、与<sup>あ</sup>えられ  
るであろ<sup>あ</sup>う」(5)とあります。勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>のこともそ  
うだし、生活<sup>せい</sup>の<sup>かつ</sup>いろん<sup>な</sup>な知<sup>ち</sup>恵<sup>え</sup>もです<sup>ね</sup>。「本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>  
に与<sup>あ</sup>えられるの<sup>の</sup>かな？」と思<sup>おも</sup>わないで！ 疑<sup>うたが</sup>  
わ<sup>わ</sup>ないで、信<sup>しん</sup>じて祈<sup>いの</sup>り求め<sup>もと</sup>ていくこと<sup>こと</sup>です<sup>ね</sup>。

**いの祈り** 天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様<sup>げんかい</sup>、限<sup>ちい</sup>界<sup>わ</sup>のある小<sup>わ</sup>さな私<sup>わたし</sup>の頭<sup>あたま</sup>で  
あり、能<sup>のう</sup>力<sup>りき</sup>ですが、信<sup>しん</sup>じて祈<sup>いの</sup>って、さら  
に知<sup>ち</sup>恵<sup>え</sup>が与<sup>あ</sup>えられます<sup>よう</sup>に。

## 6月21日（木）



ヤコブ1・17～18

あらゆる良<sup>よ</sup>い贈<sup>おく</sup>り物<sup>もの</sup>、あらゆる完<sup>かん</sup>全<sup>ぜん</sup>  
な賜<sup>たま</sup>物<sup>もの</sup>は、上<sup>うへ</sup>から、光<sup>ひかり</sup>の父<sup>ちち</sup>から下<sup>くだ</sup>  
て来<sup>く</sup>る。 17節

贈<sup>おく</sup>り物<sup>もの</sup>ってうれい<sup>い</sup>しいでし<sup>よ</sup>う？ クリスマス  
プ<sup>プ</sup>レゼ<sup>レ</sup>ントとか、バ<sup>バ</sup>ースデ<sup>ス</sup>イプ<sup>イ</sup>レゼ<sup>レ</sup>ントとか。  
た<sup>た</sup>だ感<sup>かん</sup>謝<sup>しや</sup>して、も<sup>も</sup>らうだ<sup>け</sup>です<sup>も</sup>の<sup>の</sup>ね。天<sup>てん</sup>の父<sup>ちち</sup>、  
光<sup>ひかり</sup>の父<sup>ちち</sup>、上<sup>うへ</sup>にいら<sup>ら</sup>っし<sup>や</sup>る神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>が、その良<sup>よ</sup>い贈<sup>おく</sup>  
り物<sup>もの</sup>や、完<sup>かん</sup>全<sup>ぜん</sup>な賜<sup>たま</sup>物<sup>もの</sup>、こ<sup>こ</sup>れも同<sup>おな</sup>じプ<sup>プ</sup>レゼ<sup>レ</sup>ントで  
す<sup>が</sup>、私<sup>わたし</sup>たち<sup>に</sup>に<sup>く</sup>ださ<sup>る</sup>とい<sup>い</sup>うの<sup>の</sup>です。す<sup>す</sup>ご<sup>い</sup>  
と思<sup>おも</sup>い<sup>ま</sup>せん<sup>か</sup>?! 私<sup>わたし</sup>たちは、た<sup>た</sup>だ信<sup>しん</sup>じて、お祈<sup>いの</sup>  
りして、求<sup>もと</sup>めて、受<sup>う</sup>け取<sup>と</sup>って、感<sup>かん</sup>謝<sup>しや</sup>し<sup>ま</sup>す！と<sup>い</sup>  
うだ<sup>け</sup>な<sup>の</sup>です。神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>から<sup>の</sup>もの<sup>の</sup>はす<sup>す</sup>べ<sup>べ</sup>て良<sup>よ</sup>い  
物<sup>もの</sup>、完<sup>かん</sup>全<sup>ぜん</sup>な物<sup>もの</sup>、頂<sup>いた</sup>きま<sup>し</sup>よう！

**いの祈り** 天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様<sup>しん</sup>、あ<sup>あ</sup>なた<sup>しん</sup>を信<sup>しん</sup>じる信<sup>しん</sup>仰<sup>こう</sup>の世<sup>せ</sup>界<sup>かい</sup>は  
な<sup>な</sup>んてす<sup>す</sup>ご<sup>い</sup>い、リ<sup>リ</sup>ッ<sup>ッ</sup>チ<sup>チ</sup>な世<sup>せ</sup>界<sup>かい</sup>でし<sup>よ</sup>う。光<sup>ひかり</sup>  
の父<sup>ちち</sup>なるあ<sup>あ</sup>なた<sup>しん</sup>を信<sup>しん</sup>じ<sup>ま</sup>す。

## 6月22日（金）



ヤコブ4・1～10

しか<sup>し</sup>か<sup>か</sup>神<sup>かみ</sup>は、い<sup>い</sup>や増<sup>ま</sup>しに恵<sup>めぐ</sup>みを賜<sup>たま</sup>う。  
6節

「あ<sup>あ</sup>なた<sup>が</sup>た<sup>は</sup>は、求<sup>もと</sup>め<sup>ない</sup>から得<sup>え</sup>られ<sup>ない</sup>の<sup>の</sup>  
だ」(2)とヤコブ<sup>は</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。そ<sup>そ</sup>う<sup>か</sup>、と<sup>お</sup>も<sup>い</sup>  
ま<sup>す</sup>ね。求<sup>もと</sup>め<sup>て</sup>も与<sup>あ</sup>えられ<sup>ない</sup>の<sup>の</sup>は、自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>を<sup>たの</sup>  
楽<sup>らく</sup>しま<sup>せ</sup>よ<sup>う</sup>と<sup>し</sup>て、悪<sup>わる</sup>い求<sup>もと</sup>め<sup>方</sup>を<sup>する</sup>から<sup>だ</sup>と  
もあ<sup>あ</sup>っ<sup>て</sup>、ナル<sup>ナル</sup>ホ<sup>ホ</sup>ド<sup>と</sup>思<sup>おも</sup>い<sup>ま</sup>す。ど<sup>ど</sup>ん<sup>な</sup>な<sup>こころ</sup>心<sup>こころ</sup>で、  
ど<sup>ど</sup>う<sup>い</sup>お祈<sup>いの</sup>り<sup>を</sup>する<sup>人</sup>に、神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>は良<sup>よ</sup>い贈<sup>おく</sup>り物<sup>もの</sup>を  
い<sup>い</sup>っぱ<sup>い</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>る</sup>の<sup>の</sup>でし<sup>よ</sup>う。「神<sup>かみ</sup>は高<sup>たか</sup>ぶ<sup>る</sup>者<sup>もの</sup>  
を<sup>し</sup>り<sup>ぞ</sup>け、へ<sup>へ</sup>り<sup>く</sup>だ<sup>る</sup>者<sup>もの</sup>に恵<sup>めぐ</sup>みを<sup>たま</sup>賜<sup>たま</sup>う」(6)  
とあ<sup>あ</sup>り<sup>ま</sup>す。神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>は恵<sup>めぐ</sup>みを<sup>あ</sup>た<sup>へ</sup>と<sup>し</sup>て<sup>い</sup>て  
く<sup>く</sup>だ<sup>さ</sup>い<sup>ま</sup>す。へ<sup>へ</sup>り<sup>く</sup>だ<sup>つ</sup>て求<sup>もと</sup>め<sup>よ</sup>う。

**いの祈り** 天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様<sup>わたし</sup>、私<sup>あ</sup>た<sup>ち</sup>を愛<sup>あい</sup>して恵<sup>めぐ</sup>みを<sup>ま</sup>す  
ま<sup>ま</sup>す<sup>あ</sup>た<sup>へ</sup>と<sup>し</sup>て<sup>い</sup>てく<sup>く</sup>だ<sup>さ</sup>るあ<sup>あ</sup>な<sup>な</sup>  
た<sup>の</sup>前<sup>まえ</sup>に、へ<sup>へ</sup>り<sup>く</sup>だ<sup>つ</sup>て求<sup>もと</sup>め<sup>て</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>す</sup>。

## 6月23日（土）



ヤコブ5・13～18

義<sup>ぎ</sup>人<sup>じん</sup>の祈<sup>いのり</sup>は、大<sup>おお</sup>いに力<sup>ちから</sup>があり、効<sup>こう</sup>果<sup>かく</sup>  
のある<sup>もの</sup>である。 16節

エ<sup>エ</sup>リ<sup>リ</sup>ヤ<sup>つて</sup>、ど<sup>ど</sup>ん<sup>な</sup>な<sup>ひと</sup>人<sup>ひと</sup>だ<sup>つ</sup>た<sup>か</sup>？ 思<sup>おも</sup>い<sup>だ</sup>し<sup>ま</sup>  
す<sup>か</sup>？ 神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>の言<sup>こと</sup>葉<sup>は</sup>を<sup>い</sup>た<sup>だ</sup>いて、大<sup>だい</sup>胆<sup>たん</sup>に信<sup>しん</sup>じて  
語<sup>かた</sup>った預<sup>よ</sup>言<sup>げん</sup>者<sup>しや</sup>です。「わ<sup>わ</sup>た<sup>た</sup>し<sup>の</sup>言<sup>こと</sup>葉<sup>は</sup>の<sup>い</sup>な<sup>う</sup>ち  
は、数<sup>すう</sup>年<sup>ねん</sup>、雨<sup>あめ</sup>も露<sup>つゆ</sup>も<sup>な</sup>い<sup>で</sup>し<sup>よ</sup>う」とい<sup>い</sup>う<sup>の</sup>と、何<sup>なん</sup>  
と3<sup>さん</sup>年<sup>ねん</sup>6<sup>かく</sup>ヶ<sup>げ</sup>月<sup>げつ</sup>、一<sup>いつ</sup>滴<sup>てき</sup>も雨<sup>あめ</sup>が<sup>ふ</sup>り<sup>ま</sup>せ<sup>ん</sup>で<sup>し</sup>た！  
バ<sup>バ</sup>ア<sup>ア</sup>ル<sup>という</sup>偶<sup>ぐう</sup>像<sup>ざう</sup>信<sup>しん</sup>者<sup>じや</sup>450<sup>にん</sup>人<sup>にん</sup>と対<sup>たい</sup>決<sup>けつ</sup>して天<sup>てん</sup>  
から<sup>の</sup>火<sup>ひ</sup>を<sup>よ</sup>呼<sup>よ</sup>び<sup>く</sup>だ<sup>し</sup>ま<sup>し</sup>た！ そ<sup>そ</sup>し<sup>て</sup>、次<sup>つぎ</sup>に<sup>は</sup>カ<sup>カル</sup>  
メル<sup>メル</sup>山<sup>さん</sup>の頂<sup>ちやうじやう</sup>上<sup>じやう</sup>で、祈<sup>いの</sup>って祈<sup>いの</sup>って、大<sup>おお</sup>雨<sup>あめ</sup>を<sup>しん</sup>降<sup>お</sup>ら<sup>せ</sup>  
せ<sup>た</sup>の<sup>の</sup>です！ 生<sup>い</sup>きてお<sup>お</sup>ら<sup>ら</sup>れる神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>を<sup>しん</sup>信<sup>しん</sup>じて  
祈<sup>いの</sup>った<sup>か</sup>ら<sup>で</sup>し<sup>た</sup>。エ<sup>エ</sup>リ<sup>リ</sup>ヤ<sup>も</sup>人<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>、私<sup>わたし</sup>も同<sup>おな</sup>じ  
人<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>！

**いの祈り** 天<sup>てん</sup>のお父<sup>とうさま</sup>様<sup>い</sup>、生<sup>い</sup>きてお<sup>お</sup>ら<sup>ら</sup>れるあ<sup>あ</sup>なた<sup>しん</sup>を<sup>そ</sup>心<sup>しん</sup>底<sup>そこ</sup>  
信<sup>しん</sup>じて、エ<sup>エ</sup>リ<sup>リ</sup>ヤ<sup>の</sup>よ<sup>う</sup>に祈<sup>いの</sup>って、あ<sup>あ</sup>なた<sup>の</sup>  
み<sup>み</sup>わ<sup>わ</sup>ざ<sup>を</sup>を<sup>み</sup>た<sup>い</sup>い<sup>ま</sup>す。



GOD



聖書  
テーマ  
暗唱聖句

列王上3・16～28

ソロモンの知恵

神の知恵が彼のうちにあって、  
さばきをするのを見たからであ  
る。 列王上3・28

目標

神様からの知恵によって生きる  
者となる。

6月24日（日）

聖書  
聖句

列王上3・16

さて、ふたりの遊女が王のところに  
きて、王の前に立った。 16節

今週から、ダビデ王の息子、ソロモン王のお  
話に入ります。ソロモンは、神様からの知恵を  
与えられた人で有名です。さあ、どんな知恵だっ  
たのか、注目！

ソロモンのところに「遊女」と呼ばれる二人の  
女性がやってきました。遊女は、周囲から良く思  
われていない人たちでした。だから、そういう人  
は、身分の高い王様になんて会えないはずなの  
です。ところが、ソロモンはどんな人であって  
も直接会って、話を聞きました。神様の知恵が  
ある人は、どんな人も受け入れて、けっして差別  
しないのです。

祈り 天のお父様、人を差別しないで、どんな人  
も受け入れる神様の知恵を、わたしにもあ  
たえてください。

6月25日（月）

聖書  
聖句

列王上3・17～21

家にはほかにだれもわたしたちと共  
にいた者はなく、ただわたしたちふ  
たりだけでした。 18節

二人の女性は、同じ家に住んでいて、同じ時  
期に赤ちゃんを産みました。ところが、片方の  
女性が、寝ているあいだにあやまって自分の赤  
ちゃんの上にのっかってしまい、赤ちゃんは死  
んでしまいました。そこで、もう片方の女性の  
生きている赤ちゃんと、自分の死んだ赤ちゃん  
をとりかえたというのです！それで大ゲンカ  
になり、ソロモンのところに来たのです。

この二人のほかには誰も見ていないと言  
うのですから、どうしようもない？ いいえ、見て  
いたお方がいます。それは神様。ソロモンが求  
めた知恵は、すべてを知っておられる神様の  
知恵なのです。

祈り

天のお父様、すべてを知っておられるあな  
たの知恵を、わたしにも与えてください。

6月26日（火）

聖書  
聖句

列王上3・17～22

彼らはこのように王の前に言い合っ  
た。 22節

「生きている子がわたしの子どもよ！」「いい  
え、死んだのがあなたの子どもでしょ？」と、  
二人の女性は言いあらしい、ソロモン王の前で  
も大ゲンカが始まりました。

赤ちゃんというのは、お母さんがほんとうに  
苦労して産むものです。せつかく生まれた赤  
ちゃんが死んでしまい、もう一人の女性の赤  
ちゃんが生きている。くやしくて、悲しくて、  
たまらなかったのでしょう。自分のことしか考  
えられなくなって、まるで物みたいに赤ちゃん  
を取りかえてしまいました。神様の知恵がない  
と、自分のことだけを考えて行動して、争い  
をおこしてしまいます。

祈り

天のお父様、わたしが自分のことだけを  
考えて、争いをおこさないように助けて  
ください。

## 6月27日（水）

聖書  
聖句

列王上3・23～25

生きている子を二つに分けて、半分  
をこちらに、半分をあちらに与えよ。  
25節

さあ、困りました。二人の女性の大ゲンカは、  
いつまでも終わりにありません。ところが  
ここで、ソロモンは神様の知恵を用いたのです。  
「刀を持ってきて、赤ちゃんを半分にわけて、  
二人の女性にあたえなさい」。えええ!? 赤ちゃん  
を刀で半分にしておけっこする? そんなこと  
したら、赤ちゃんは…! そこにいた全員に  
衝撃が走りしました! でも、それこそがソロモン  
のねらい。

神様の知恵は、わたしたちが考えつかない、  
おどろきにあふれています。そして、ちゃんと  
あとでその意味を教えてくださいますよ!

いのちの祈り 天のお父様、神様の知恵はおどろきでいっ  
ぱいです。わたしがその意味がわかるよう  
に助けてください。

## 6月28日（木）

聖書  
聖句

列王上3・26～27

生きている子を初めの女に与えよ。  
決して殺してはならない。彼女はそ  
母なのだ。  
27節

赤ちゃんを刀で切ってわけるなんて! 片方  
の女性がまっさきに言いました、「赤ちゃんを  
あちらの女性にあげていいです。どうか殺さな  
いで!」。もう片方の女性は「どっちにもあげな  
いで、切ってください!」。さて、どちらが本当  
のお母さんだと思いますか? 「殺さないで!」  
と言ったほうですよ! ソロモンは、その女性  
に赤ちゃんをわたしたのでした。二人の反応を  
見て、本当のお母さんをあてる神様の知恵だっ  
たのです。おみごと!

神様の知恵は、必要なところに、きちんと働  
くのです。むだなことがありません。神様は、  
ほんとうにすごいんです。

いのちの祈り 天のお父様、神様の知恵は、本当に必要な  
ところに働かれることを教えてください  
感謝します。

## 6月29日（金）

聖書  
聖句

列王上3・16～28

神の知恵が彼のうちにあって、さば  
きをするのを見たからである。  
28節

神様の知恵を持っているソロモン王を、イス  
ラエルの人々は心から畏れ、敬うようになり  
ました。ソロモンをとおして、「神様の知恵は、  
人間の知恵よりすごい!」とわかったからです。

ソロモンは、神様からの知恵を最大限に用い  
ました。そのけっか、人々は神様のすばらしさ  
を知ったのです。ソロモンもすばらしいのです  
が、知恵をあたえた神様はもっとすばらしい。  
神様の知恵がある人は、自分ではなく神様のす  
ばらしさを伝える人になるのですね。

いのちの祈り 天のお父様、わたしが、自分ではなく、  
神様のすばらしさを精一杯伝える人にな  
ることができるよう。

## 6月30日（土）

聖書  
聖句

列王上3・11～12

見よ、わたしはあなたの言葉にした  
がって、賢い、英明な心を与える。  
12節

ソロモンにはどうして神様の知恵があたえら  
れたのでしょうか。それは、彼が「神様の知恵を  
あたえてください」と求めたからです。自分の  
幸せを求めないで、主様として人々をみちびく  
ための知恵を求めたのです。神様はソロモンの  
願いを喜ばれ、知恵をあたえてくださいました。

人生はね、自分の知恵だけでは、もうどうし  
たらいいの〜! ってことだらけ。これから、そ  
ういうことがたくさん起きますよ。だから、神様  
の知恵が必要なんです。ソロモンのように求め  
て祈りましょう。神様のすばらしい知恵があれ  
ば、かならず、のりこえていきます!

いのちの祈り 天のお父様、わたしには神様の知恵が必要  
です。あなたのすばらしい知恵にたよって  
歩いていきます!